

山陰本線を走る観光列車

# あめつち

～天地の初発のとき～



あめつち

大山を望むあめつち(伯耆大山～淀江間)

## CONCEPT

— ネイティブ・ジャパニーズ —

山陰地方は、神社、お酒、歌舞伎、相撲など、日本文化の様々なルーツがあるとされ、また多くの神話が誕生した地です。島根県出身の映画監督、錦織良成氏監修のもと、この自然や日本のルーツを「ネイティブ・ジャパニーズ」というコンセプトで車両にデザインし、山陰ならではの「古くて新しい日本」を発見していただく旅を演出します。

コンセプトワーク・  
総合ディレクション・監修  
映画監督 錦織良成氏



## SERVICE

— 五感で楽しむ山陰 —

車内では、山陰の豊かな自然の中で育まれた地産品や地元になんだお食事、お飲物などをご提供し、大山、宍道湖、斐伊川など山陰ならではの美しい風景をゆっくりとお楽しみいただけます。

お食事をお買い求めのお客様は、  
ご乗車の4日前までにご予約が必要です。

※あめつちの運賃・料金のほかに、お食事の料金が別途必要です。  
※ご予約はインターネット(スマートフォン専用)での申込となります。それぞれ発売条件があります。  
詳しくは「観光列車の旅時間」にてご確認ください。  
※写真はイメージです。季節や仕入れ状況によりメニューを変更することがあります。



あめつち車内のお食事

「あめつち」は週末を中心に運転します。全席指定席、乗車券の他に普通列車の指定席グリーン券が必要です。

運転日・停車駅・時刻を含む運行情報、お食事予約等について

詳しくは

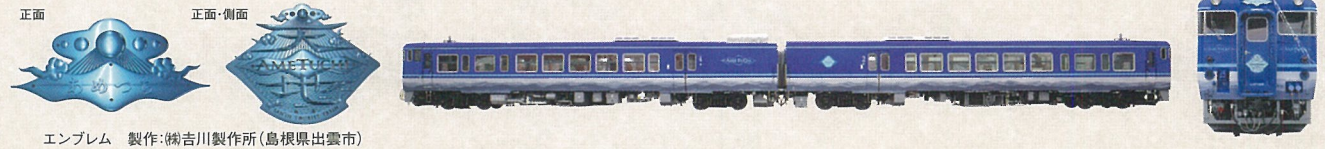


左記の二次元コードから  
観光列車の旅時間に  
アクセスいただけます。



車体カラーは、山陰の海と空をイメージした紺碧（こんぺき）色。車体下部の銀色の帯模様は、神秘的な美しさを持つ山陰の山並みと、山陰地方の繁栄の礎となった「たたら製鉄」にちなんだ日本刀の「刃文（はもん）」を表現しています。正面と側面に神話と自然を表現した立体のエンブレムが飾られています。

\*車体下部の銀色の帯模様は、鳥根県出身のアニメーション美術監督 吉田昇氏の作品です。



# EXTERIOR

— 紺碧色と銀色を基調とした、神秘的な佇まい —

# INTERIOR

— 神話のエッセンスが散りばめられた内装 —

青と緑、そして白木の天然色を基調とした、モダンで落ち着いた内装に、神話のモチーフや地元の工芸品をちりばめました。カラフルに染め上げた因州和紙を通した照明が、幻想的に車内を彩ります。



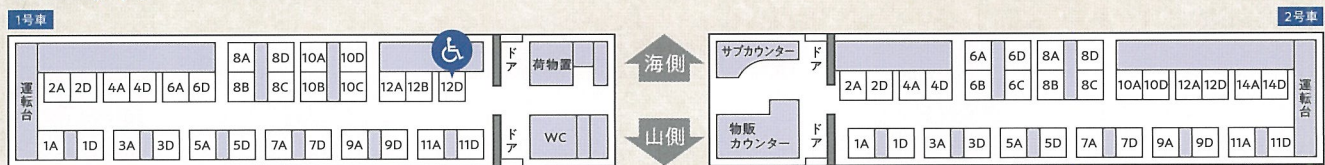
鳥取県智頭杉、鳥根県隠岐の黒松を装飾に用いたほか、地元の職人たちが車内を飾る工芸品を製作。車窓の眺めだけでなく、車内でも山陰の魅力を堪能していただけます。

# ARTS & CRAFTS

— 車内を飾る、山陰の産品・工芸品 —



## ◆ 座席表 ● 定員：59名（1号車 29名、2号車 30名）



◀ 出雲市方面 ▶ 鳥取方面 ▶  
 ■全車指定席です。■指定席券は、乗車日の1ヶ月前の10:00から、全国のJRの主な駅のみどりの窓口・主な旅行会社でお願いいたします。JR西日本ネット予約[e5489]でもご予約いただけます。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、おでかけの際は「新しい旅のエチケット」へのご協力をお願いします。

※記載の情報は2021年8月更新のものです。※画像は全てイメージです。